



1 台北国際大会 ブース出展決定 & 分科会開催時刻変更

6月13日から17日まで開催されるロータリー国際大会（台北国際大会）において、友愛の家でのブース出展が正式に決定しました。ブース番号は「106番」です。会場マップ等の詳細が公開されましたら、改めてお知らせいたします。

ご来場いただいた方には、数量限定で記念グッズを配布予定です。当事業と米山学友の活躍を広く発信する貴重な機会となります。ご来場をお待ちしています。

また、6月15日（月）に開催が決定している当財団の分科会の時刻が変更となりました。開催時刻は**11:00～12:00**です。ご注意ください。

6月12日（金）には、台湾米山学友会主催の歓迎懇親会が、上海鄉村餐廳 承德本家にて18時30分から開催されます。登録期限は**4月30日（木）**まで。詳細はQRコードからご確認ください。

台湾米山学友会主催 歓迎懇親会

6.12

- ・2026年6月12日（金）18:30～
- ・上海鄉村レストラン 承德本家
- ・参加費：NT\$1,600（¥8,000）/名



ご登録はこちら
期限：4月30日まで

6.13

友愛の家 ブース出展

2026年6月13～17日 09:00～18:00 ※17のみ-14:00

17

台北南港展覽館(TaiNEX) **ブース番号 #106**

※お立ち寄りいただいた方には記念品をお渡しします（数量限定）

国際大会 分科会

※時間が変更になりました

6.15

2026年6月15日（月） **11:00～12:00**

分科会タイトル **広がる基盤・つながる世界**

～ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践～

登壇者（米山学友）



林岳毅さん

RID 3461 台北文中RC
台湾米山学友会 常務理事
(台湾/2000-01/札幌清田RC)



フンティミーハンさん

ベトナム南米山学友会 副会長
(ベトナム/2001-02/金沢みなとRC)



朴貞子さん

RID2750 東京米山学友RC
第3回米山学友による世界大会
再会in関東 実行委員長
(中国/2006-08/平和田RC)



バヤンバット、
トゥメンデルゲルさん

RID3450 フレーRC
モンゴル米山学友会 会長
(モンゴル/2014-15/大阪東RC)

2 2026 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2026 学年度の奨学生は 969 人となりました。新規採用者 682 人、継続者 287 人です（4月6日現在）。国・地域別では、中国 32.4%、ベトナム 13.9%、韓国 12.6%、ミャンマー 6.5%、インドネシア 5.0%、ネパール 3.8%、モンゴル 3.7%、マレーシア 3.5%、台湾 3.2%、スリランカ 2.4%の順となり、全 54 カ国の採用となりました。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学生が 914 人（学部 473 人、修士 282 人、博士 159 人）、地区奨励奨学生が 25 人、クラブ

支援奨学生が 12 人、海外応募者対象奨学生が 17 人、海外学友会推薦奨学生が 1 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。新たな奨学生たちを、どうぞ温かくお迎えください。

3 寄付金速報 — 今年度も残り 2 カ月半 —

前年同期比

-1.8%

普 +1.0% 特 -3.2%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%減（普通寄付金：1.0%増、特別寄付金：3.2%減）、約 1,950 万円の減少となりました。

た。当月は、1,000 万円の寄付を含む大口寄付が 3 件あり、3 月単月の寄付額は 2000 年度以降初めて 7,000 万円を超えました。皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。引き続き、当事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

4 当財団への寄付により紺綬褒章を受章

長年にわたり、当事業に多大なるご支援を寄せてくださっている第 2550 地区宇都宮 90R C の飯村 慎一氏が、2025 年 10 月 25 日付で紺綬褒章を受章しました。

3 月 26 日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、出席した当財団の若林紀男理事長から紺綬

褒章に付する飾版が伝達されました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。心よりお祝い申し上げます。

5 奨学期間を終え、新たなステージへ

卒業の時期を迎えた 3 月、全国各地で米山奨学生の奨学期間終了に伴う式典が開催され、多くの米山奨学生が新たなステージへと歩み始めました。今回は、国際ロータリー第 2510 地区の様子をご紹介します。

3 月 8 日、札幌市内で米山記念奨学生終了式が開催され、米山奨学生 17 人をはじめ、ロータリー会員 40 人と米山学友 2 人が出席しました。式は、当財団の嵯峨義輝理事の挨拶で始まり、奨学生には終了証書が、カウンセラーには感謝状がそれぞれ授与されました。その後の歓送会



では、奨学生とカウンセラーがこれまでの思い出や感謝の言葉をスピーチし、会場は心温まる雰囲気になりました。また、北海道大学に在籍する奨学生が、同大学史上初となる外国人留学生の首席卒業を果たし、卒業論文でも最優秀賞に輝いたことが報告されると、会場からは大きな拍手が送られました。札幌モーニング R C

に所属し、この日出席した米山学友の鄭子龍^{ジョンジャリオン}さんは、「卒業した米山奨学生たちが、それぞれの道で国際社会に貢献してくれることを期待しています」と、後輩たちへエールを送りました。

6 マレーシア米山学友会 創立 10 周年記念総会開催

3 月 15 日、マレーシア・スレンバンにてマレーシア米山学友会の創立 10 周年記念総会が開催されました。当財団からは若林紀男理事長が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、オンライン配信を通じて各地の米山学友も参加し、総勢 50 人が節目を祝いました。



式典は、会長の黄建榮さん（1998-2000/室蘭東 R C）の挨拶で幕を開け、若林理事長が祝辞を述べた後、活動報告や会計報告が行われ、終始和やかな雰囲気の中で進行されました。

総会に先立ち、前日にはスレンバン博物館を訪問した後、現地の老人ホーム施設を見学。高齢化社会という課題に直面するマレーシアの民間施設を支援するため、同学友会から約 7 万円の寄付金が贈呈されました。夜には晩餐会が開催され、マレーシアの米山学友たちが伝統衣装「バティック」を、海外からの参加者もそれぞれの民族衣装を身にまとい、華やかな雰囲気の中で交流を深めました。

2016 年の学友会設立時に 39 人だった会員数は 10 年を経て 100 人を超える規模へと成長しており、マレーシア米山学友会のさらなる飛躍が期待されます。



民族衣装に身を包んで参加